

新年あけましておめでとうございます。

はじめに、本年1月1日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々、そしてご遺族の方々に対して深く哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。また1日も早い被災地の復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、石川県能登を震源とする能登半島地震では最大震度7の強い揺れが観測されました。強い揺れは石川県、富山県、新潟県などの広範囲で観測され、石川県を中心に人的被害をはじめ建物の倒壊や津波、火災、土砂崩れなど甚大な被害が発生しました。また、東日本大震災以来の大津波警報が石川県能登で発表され、山形県でも津波警報が発表、庄内地方で多くの人々が避難所に避難をしました。震度4以上の強い余震が現在も続いており、今後の推移を注視し、災害に対する意識を高めていかなければならないと感じているところです。

また1月2日には羽田空港の滑走路で、新千歳発羽田行きの日本航空516便が着陸時に海上保安庁の航空機と衝突し、炎上する事故が起きました。地震関連のニュースを中断して、速報があったため、驚いた人も多かったのではないのでしょうか。

海上保安庁の航空機は被災地に援助物資を運ぶ途中でした。海上保安庁の乗員5名がこの事故で亡くなりましたが、日航機の乗員乗客379名は全員機体から脱出しました。衝突してから18分の全員脱出は乗員の適切な判断と乗客の冷静な対応があったからで、我々もここから学ぶことが多いと思います。日頃の乗員の危機意識の高さと訓練が功を奏した形となりました。この全員脱出には世界各国から称賛の声が上がったほどです。

さて、大きな自然災害と事故が発生して始まった新年でしたが、スポーツ関係で注目したことにも触れたいと思います。

まずは全国高校サッカー選手権です。被災地からの出場となった石川県の星稜高校は1月2日の3回戦、市立船橋高校との試合がありました。星稜の応援団は地震のため千葉県柏市の会場に来ることができませんでした。そこで星稜の応援にあたったのは2回戦敗退の日大藤沢高校、ビニールで作った黄色のビブスを着用し、首都圏在住で応援に集まった星稜のOBとともに応援にあたりました。応援に使った緑色のメガホン350本は試合相手の市立船橋高校から提供されたものでした。会場には「共に頑張ろう石川！」などの横断幕も掲げられました。試合は1-4で市立船橋高校の勝利となりましたが、感動と充実感を得られた素晴らしい試合となりました。

そして箱根駅伝です。前日に能登半島地震がありましたが、予定通り開催し、青山学院大学が往路、復路ともに優勝の完全優勝となりました。復路の5選手が箱根未経験の中で2位駒澤大学に大きな差をつけての第1位、繰り上げスタートでタスキをつなげない大学があ

る中で、タスキをつなぎ、思いをつなぐことの大切さを実感しました。

さて、3学期は令和5年度の総決算となる学期です。特に3年生は3月に卒業式を控えています。卒業までの高校生活を充実したものにすることはもちろんですが、卒業後の進路に向けた準備もしっかりお願いします。置農で学んだことに誇りをもって、進路先でその知識や技術等を十分に発揮してほしいと思います。

2年生は4月からいよいよ最高学年となります。2年生の3学期は3年0学期と言われます。3年生から校内の様々な活動の「タスキ」を受け継ぎ、最高学年に向けて、準備をしっかりお願いします。

1年生は4月から2年生、新たに新入生が入学します。新1年生の手本となり、後輩を引っ張っていけるよう、今から心構え等の準備をしっかりしてください。

これまで雪の少ない暖冬でしたが、これから寒さは厳しくなっていくと思います。短い3学期ではありますが、体調管理に気を配り、規則正しい生活を心がけてください。3学期が来年度に向けた飛躍の学期となることを期待して、3学期始業式の式辞とします。